

巻末資料 2

要配慮訓練生を担当する職業訓練指導員に係る
アンケート調査票

「特別な配慮を要する訓練生」を担当する職業訓練指導員に係るアンケート

本アンケートは、厚生労働省からの委託「障害者訓練を担当する職業訓練指導員等に関する調査研究」を受け、一般校における一般向け訓練コース（障害者向け訓練コース以外）において、診断を受けていないものの精神障害や発達障害と似た行動特性を有する「特別な配慮を要する訓練生」（以下「要配慮訓練生」という。）に対する訓練状況及び担当している職業訓練指導員の実態について、現状の把握・分析をするためのものです。

以下の設問について、ご回答をお願いします。

施設名： _____

設問 1 要配慮訓練生について、貴施設において把握しているかをお聞かせください。

- 把握している 把握していない

設問 2 要配慮訓練生に対して、貴施設において実施している取組等についてお聞かせください。取り組んでいるものがあれば下表から選択していただき、「取組の有無」に「○」を記入いただき、具体的な内容の記載をお願いします。

番号	取組事項	取組の有無	取組の具体的な内容
①	要配慮訓練生に関する情報の共有 ※ ここでの情報の共有は指導員同士のみだけでなく、管理職（校長・課長等）と指導員、指導員と窓口の受講者係や就職支援アドバイザーなど、役割の異なる複数の職員間での情報共有の場合をいいます。		
②	事案が生じた場合の支援機関やカウンセラー等の専門家への相談 ※ 施設で相談員として依頼している外部カウンセラー等への相談も含まれます。		
③	要配慮訓練生への対応の検討のためのケース会議等の設置 ※ 回数及び構成は問いません。事案が生じた場合の開催でも可です。		
④	担当職員または職業訓練指導員の関連研修の受講 ※ 現場での指導や支援のヒントにつながると思われるものです。		
⑤	施設における勉強会等の実施 ※ ④の研修受講者からの伝達研修等を含みます。		
⑥	要配慮訓練生のための、訓練テキスト、受講方法、訓練指導方法、掲示物の工夫等 (受講環境の調整や接し方の変更等)		

⑦	その他		
---	-----	--	--

設問 3 要配慮訓練生について、その行動特性等を把握した「きっかけ」「場面」等があればお聞かせください。

(例：担任指導員の面談時の受け答え時において、〇〇実習時の訓練生の対応や反応をみて、就職支援アドバイザーとの就職支援面談時において、等)

設問 4 要配慮訓練生について、近年（ここ 4～5 年）増加傾向にあるかをお聞かせください。

- 増加傾向にある
 増減の傾向はない
 減少傾向にある

設問 5 貴施設で実施している訓練コース（障害者向けコースは除く）の令和元年度について、入校者数とそのうち施設で把握している「要配慮訓練生」の人数や年代等をお聞かせください。

※ 入力欄が不足する場合は行の追加をお願いします。

【訓練コースごとの受講者数と要配慮訓練生数】

訓練コース名	入校月	入校者数	要配慮訓練生数
科	年 月	人	人
科	年 月	人	人
科	年 月	人	人
科	年 月	人	人
科	年 月	人	人
合計		人	人

【要配慮訓練生の年代・性別】

性別	合計	10 歳代 (～19 歳)	20 歳代 (20～29 歳)	30 歳代 (30～39 歳)	40 歳代 (40～49 歳)	50 歳代 (50～59 歳)	60 歳以上 (60 歳～)
男性	人	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人	人
合計	人						

設問6 貴施設で実施している訓練コース（障害者向けコースは除く）を担当する職業訓練指導員が、訓練業務以外で「要配慮訓練生」に対応するために必要だと考えるスキルや役割についてお聞かせください。（複数選択可）

- 専門家（PSW等）との連携 カウンセリング ワーカー（生活指導）
- 就職支援 就職先企業への配慮事項の伝達
- アセスメント（職業評価） 訓練受講時の合理的配慮に関する相談対応
- その他（下記に具体的にご記入ください）

設問7 職業訓練指導員が設問6のスキルを身につけるために必要な研修等で、貴施設で取組んでいる人材育成についてお聞かせください。（複数選択可）。

- 指導員に外部の研修の受講を推奨している。または既に受講している指導員がいる。

推奨している研修またはよく利用する研修実施期間とコース名

- 都道府県で指導員向けに実施している研修を受講。

具体的な研修内容

- 貴施設内で独自に実施

具体的な研修内容

- その他

設問8 職業訓練指導員以外で、要配慮訓練生の対応・支援する各専門家の貴施設の配置状況と主な業務内容についてお聞かせください。「専門家名」は①～⑩までの選択肢から番号で選んでいただき、その他の場合は具体的な専門家名をご記入ください。

専門家名	配置状況 巡回 の場合は頻度も	相談実施 件数	主な業務内容
	常駐・巡回 (月・週 回)	月あたり 約 件	
	常駐・巡回 (月・週 回)	月あたり 約 件	
	常駐・巡回 (月・週 回)	月あたり 約 件	
	常駐・巡回 (月・週 回)	月あたり 約 件	

【専門家の選択肢】

- ① 精神保健福祉士（PSW） ② 嘱託医 ③ 精神科医師 ④ 作業療法士
⑤ 臨床心理士 ⑥ 看護師 ⑦ 准看護師 ⑧ 保健師 ⑨ 心理カウンセラー
⑩ キャリアカウンセラー ⑪ 産業カウンセラー ⑫ 生活指導員
⑬ 就職支援員 ⑭ 職場定着支援員 ⑮ その他

設問 9 設問 8 の要配慮訓練生の対応・支援する各専門家の配置状況で、貴施設で不足していると考えているものがあればお聞かせください。

--

設問 10 要配慮訓練生の対応について、職業訓練指導員の人材育成についての課題等がありましたらお聞かせください。

--

設問 11 要配慮訓練生の対応について、支援機関との連携等、施設としての課題がありましたらお聞かせください。

--

設問 12 令和 2 年 3 月に送付された以下の「訓練受講者への支援・対応 Q & A」の活用状況についてお聞かせください。Q & A を活用している場合は、具体的な活用内容の記載をお願いします。

(例：施設における勉強会のテキストにしている、Q & A に記載された支援機関に実際に相談した、等)

具体的な活用内容



以上です。ご協力誠にありがとうございました。

アンケートの集計の際に、ご回答いただいた内容について不明な点等の確認にご連絡をする場合があります。その際の回答者様の連絡先をご記入ください。

回答者名： _____

役職： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____